（昭二）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十五年八月二十一日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百二十七號　（一）

臺灣新民 昨日休刊

夕刊 八月二十日

新體制聲明文案纏り
愈よ準備委員會招集
委員の人選漸く内定

【東京二十日發同盟】近衛首相が發表に先べる新政治體制の聲明文案について首相官邸の閣議室に於いて目下最終的の審議が行はれつゝあつたが愈〻これが聲明文を發表するに決定、二十一日午前十時メムバーについても漸く人選の内定を見た樣で近衛首相は右聲明文案の發表と同時に新體制準備委員會を設置する筈である、委員會の構成メムバーは閣僚の外は殆んど全部が新人を以て網羅され、閣僚は委員會の顧問として參加するに過ぎず委員會の實權は全く委員會の手に握られる樣である、委員會の組織については首相官邸で目下研究中であるが、一方政府當局の意向としては委員會の構成メムバーは出來るだけ廣く各方面の人材を網羅し擧國一致の實を擧げ得る樣にしたいとの意向である

吉田海軍大臣も參加か

【東京二十日發同盟】近衛首相が發表に先べる新政治體制の聲明文案について首相官邸の閣議室に於いて目下最終的の審議が行はれつゝあつたが愈〻これが聲明文を發表するに決定、二十一日午前十時メムバーについても漸く人選の内定を見た樣で近衛首相は右聲明文案の發表と同時に新體制準備委員會を設置する筈である、

買占め賣惜みに斷乎たる取締り

業者以外の媒介にも及ぶ

…してゐる者
…業者以外の一般人は物品の賣惜みをしたり又はその賣惜みをしたりする手段として賣渡の申込をしたりする者の賣渡に應じ又は之等の賣渡が專ら投機的目的を以て賣買をする者…
…二、新しい仕入品に付て已むを得ない理由があつて例外許可なり新協定賣渡なりの申請をしてゐる者…
…物に關して從來の安い仕入品を先約によつて安く仕入れた物品をも新しい品と同一價格で賣つて利益を得ようとして新協定賣渡の認可になるまで賣惜みをしてゐる者

…業者以外の一般人は物品の賣惜みや投機的賣渡をしてゐる者に對する取締に關しては二十日午前九時より部内各署長に對し各署管轄區域内に於ける取締方針並に取締要領を指示した

服飾品にも供物にも 贅澤を絶對排撃

基隆保甲協會が乘出す

【基隆電話】基隆保甲協會では今回時局下贅澤品の製造販賣並に贅澤なる服飾品の使用を絶對に排撃するに就き左の如き申合せをなし、打合せの總聯合會、婦人會、青年團、醫師會の各團體代表者を招集して、二十日午前十時より基隆公會堂に於て協議會を開催することとなつた

一、基隆市内に於ける料理屋、待合、藝妓屋、カフエー、バー、ダンスホール、喫茶店、ビヤホール、ビヤガーデン、ミルクホール、氷菓子屋、果物屋、菓子屋、食堂、寄席、劇場、活動寫眞館、ホテル、旅館、下宿屋、理髮店、美容院、湯屋、貸席、貸ボート、貸自轉車、貸自動車、貸馬車、貸人力車、貸荷車、貸家、貸間、貸事務所、貸倉庫、貸金業、質屋、古物商、骨董商、時計店、貴金屬店、洋服店、和服店、洋品店、帽子店、履物店、鞄店、傘店、化粧品店、煙草店、酒類販賣店、飲食店、料理店、菓子店、果物店、食料品店、其の他一般商店は贅澤品の販賣又は贅澤なる服飾品の使用を絶對に排撃すること

二、三名程度以内の個人は自宅の正面に國旗を掲げ、その他の個人は國旗を掲げないこと

三、基隆市内に於ける料理屋、待合、藝妓屋、カフエー、バー、ダンスホール、喫茶店、ビヤホール、ビヤガーデン、ミルクホール、氷菓子屋、果物屋、菓子屋、食堂、寄席、劇場、活動寫眞館、ホテル、旅館、下宿屋、理髮店、美容院、湯屋、貸席、貸ボート、貸自轉車、貸自動車、貸馬車、貸人力車、貸荷車、貸家、貸間、貸事務所、貸倉庫、貸金業、質屋、古物商、骨董商、時計店、貴金屬店、洋服店、和服店、洋品店、帽子店、履物店、鞄店、傘店、化粧品店、煙草店、酒類販賣店、飲食店、料理店、菓子店、果物店、食料品店、其の他一般商店は贅澤品の販賣又は贅澤なる服飾品の使用を絶對に排撃すること

四、基隆市内に於ける料理屋、待合、藝妓屋、カフエー、バー、ダンスホール、喫茶店、ビヤホール、ビヤガーデン、ミルクホール、氷菓子屋、果物屋、菓子屋、食堂、寄席、劇場、活動寫眞館、ホテル、旅館、下宿屋、理髮店、美容院、湯屋、貸席、貸ボート、貸自轉車、貸自動車、貸馬車、貸人力車、貸荷車、貸家、貸間、貸事務所、貸倉庫、貸金業、質屋、古物商、骨董商、時計店、貴金屬店、洋服店、和服店、洋品店、帽子店、履物店、鞄店、傘店、化粧品店、煙草店、酒類販賣店、飲食店、料理店、菓子店、果物店、食料品店、其の他一般商店は贅澤品の販賣又は贅澤なる服飾品の使用を絶對に排撃すること

五、基隆市内に於ける料理屋、待合、藝妓屋、カフエー、バー、ダンスホール、喫茶店、ビヤホール、ビヤガーデン、ミルクホール、氷菓子屋、果物屋、菓子屋、食堂、寄席、劇場、活動寫眞館、ホテル、旅館、下宿屋、理髮店、美容院、湯屋、貸席、貸ボート、貸自轉車、貸自動車、貸馬車、貸人力車、貸荷車、貸家、貸間、貸事務所、貸倉庫、貸金業、質屋、古物商、骨董商、時計店、貴金屬店、洋服店、和服店、洋品店、帽子店、履物店、鞄店、傘店、化粧品店、煙草店、酒類販賣店、飲食店、料理店、菓子店、果物店、食料品店、其の他一般商店は贅澤品の販賣又は贅澤なる服飾品の使用を絶對に排撃すること

六、基隆市内に於ける料理屋、待合、藝妓屋、カフエー、バー、ダンスホール、喫茶店、ビヤホール、ビヤガーデン、ミルクホール、氷菓子屋、果物屋、菓子屋、食堂、寄席、劇場、活動寫眞館、ホテル、旅館、下宿屋、理髮店、美容院、湯屋、貸席、貸ボート、貸自轉車、貸自動車、貸馬車、貸人力車、貸荷車、貸家、貸間、貸事務所、貸倉庫、貸金業、質屋、古物商、骨董商、時計店、貴金屬店、洋服店、和服店、洋品店、帽子店、履物店、鞄店、傘店、化粧品店、煙草店、酒類販賣店、飲食店、料理店、菓子店、果物店、食料品店、其の他一般商店は贅澤品の販賣又は贅澤なる服飾品の使用を絶對に排撃すること

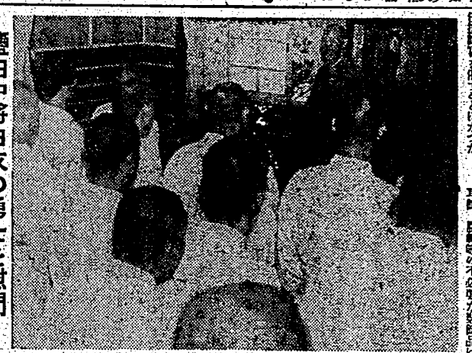
氣遣はれた諏訪丸 リヴアプールに入港

【ロンドン十九日發同盟】英國がはれてゐた獨逸船籍の諏訪丸は本日リヴアプールに入港したが、その乘客と船員の取扱に關しては英國は實に行き屆りダブールに入港した、同船は引揚邦人約四十名を乘せて獨國の給に從く發であるが、今度の航海に於ては獨逸側へ來ないことになれば從來に我が從業者配置の引揚げが出る點であるが、その點の船を如何にするかが問題で已むを得ず英國船でリスボンに送る外ないであらう、何れにせよドイツの無理解は日本船にとつては大問題なので我ロンドン大使館では獨逸武官、領事

山縣司令官の招宴

【基隆電話】山縣基隆警備司令官は二十一日午後六時より自邸に於て基隆市内の主なる官民を招待し新任披露の宴を張ることとなつた

鹽田中將白衣の勇士を慰問



英靈内地へ 高砂丸で無言の凱旋

【基隆電話】故人の戰死或は病死者は二十一日午前八時三十五分基隆驛着、同十一時半の高砂丸で内地に無言の凱旋をなす筈

遺家族を弔問

立川陸令部長は代理として二

白衣の勇士を慰問

鹽田中將多忙な一日を送る

【ロンドン十九日發同盟】獨ソ不可侵條約の締結は英國に對しては本日より發表を延期してリスボンに到着すべく發表したが、その電報が同國に合はすに發表したが、その電報が同國に合はすに發表したが、その電報が同國に合はすに

家庭

人造バタの知識

普佛戰爭の時から始まる

モリスは動物性の脂肪に大きな變化をすることになつて人造バタ「マルガリン」が登場になつて人造バタは、牛乳から製造したバターに比べて、ビタミンA、Dを多くふくんでゐますが、人造バタにはこれがありません。從つて人造バタだけで飼ふと發育不良になるとされ、いまだ此の點からビタミンを補給しなければなりません。併し食品の節約上ともふべきもので

これでは牛乳バタと人造バタを比べることはできませんので、何とかして人造バタにビタミンを與へたいようにしようとなつたのです。それには牛油などによつてビタミンを澤山含んでゐるやうな脂肪をまぜなければなりません。

（後藤生）

魚いろいろ

鮪は今どこを泳いでゐるか

本土一周

日本近海にはいろいろの魚が棲んでゐますが、本土一周をグルリ廻つて泳ぐ魚があります、それはマグロ（鮪）です、マグロ屬の間は日本近海に現はれ、冬から春さきにかけては北海道の近海に現はれ、夏から秋にかけては北海、日向灘へ、からして一年中次々と日本近海を泳いでゐます、鮪群は魚群の一種で、まとまつて行動します、そして、また次の魚群が並んでゐるから絶えず回遊してゐるといふ事になります。

鮪の話

これからサバ鮪の時がよくなります、鮪といつて、騒いだ時には體格もの、これにはゴマサバとホンサバと二種あつて、ゴマサバは東京灣の口に黒い縞々があります、面白いことに口に縞を持ちながら、海の方を泳いでゐるのはゴマサバで、陸の近くを泳いでゐるのはホンサバです、これは大津に泳ぐ魚ですから日本海、本土近くの海から獲れます

海上飛行

秋の魚としては、トビウオがあります、この魚は飛ぶ魚として有名です、人魚のやうに大きいので、これで水を切つて飛ぶと遠くまで飛行します、1回に1マイル以上も飛ぶ者もあります、大正7年新聞社の飛行機の競爭をやつたことがあります、こんなことにならうとは、夢にも思はなかつたことです。

保護色

カレイとラメも、今盛んに出てゐます、魚屋さんの話ではカレイといはずラメといはずカレイとよばれます、カレイとラメとの區別は、目が左にあるのがカレイ、右にあるのがラメといつてゐます、從つて左ヒラメ右カレイといふ位で、眼がそれぞれ反對の方に向いてゐます、從つて左ヒラメを釣つてゐるとき、自分の方に眼がついてゐるので、自分の方に泳いでくるやうに思ひます、そうすると魚の色と魚の色がよく似てゐるために、追ひかけて來る魚もまごまごしてしまふのです、これも一種の保護色です、カレイは砂地に居ることが多いので、砂地の色に似てゐるのです、

鯖の話

鯖といふ魚は、ピンからキリまであります、この魚は夏の頃から秋にかけて、一番脂肪がのつてゐます、從つて鯖は夏が一番美味しいのです、

鰹の話

鰹は、鯖と同じ種類の魚ですが、鯖よりも大きく、鰹節にされるのは、この魚です、

鰯の話

鰯は、鯖や鰹と違つて、非常に小さい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰤の話

鰤は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鮫の話

鮫は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鯨の話

鯨は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰐の話

鰐は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰻の話

鰻は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰒の話

鰒は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰈の話

鰈は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰕の話

鰕は、鯖や鰹と違つて、非常に大きい魚ですが、この魚は、鯖や鰹の餌になつてゐます、

鰹節の話

鰹節

星ぞら (127)

井伏鱒二 吉田貫三郎

ふしぎの虫 (二〇)

原案＝吉田貫三郎

「大きな戸のやつ閉りてまた何か工作してるんだろうな。しかしもう寝い、今日作るなんて妙だよ。いつかの晩そうたやうに僕は大きな戸にはつきり橋はつてるあの日、加奈女さんから電話がかかつて来てね……あれは何のためかれ、いま一人の客が訪ねて来てるとき僕に電話するんだ、例のおしやべりの客生のことを話の通り、あの事件というのは大変だよ」

加奈女はまた心配がスパイクされたうであつた。彼女はどこ出して百きたいのを我慢して、ちら地面に落ちるのを見る事があるから、ちやうど話の調子を調つてゐた。

「大きな戸にはつきりと橋はつてゐるあの日、加奈女さんから電話がかかつて来てね……あれは何のためかれ、いま一人の客が訪ねて来てるとき僕に電話するんだ、例のおしやべりの客生のことを話の通り、あの事件というのは大変だよ」

加奈女はまた心配がスパイクされたうであつた。彼女はどこ出して百きたいのを我慢して、ちら地面に落ちるのを見る事があるから、ちやうど話の調子を調つてゐた。

「でも、せつかくですもの。僕にお帰りになつた方がよう御座いますわ。この次の客があるとき、この客をお帰りになつてはいつてらつしやればよう御座いますわ。さうして、やあ怖らく気軽に御挨拶をなされば、よう御座いますわ。彼は、お二人で並んで坐つてらつしやれば、お互ひに親しみも出て来て何とか好好のつくもので御座いますわ」

「しかしどうもね……僕は四十男だからね。照れしいやつたと思はれるのが癪やなんだ。自分が御々しくしてゐると、思ふと気持が重つ苦してかなはない……どうせ照れしてかなはない……どうせ照れしてゐるなら、君が一緒にゐてくれる方がまだいいんだ」

「でもそんなことしちや、まるで女ち密して御座いますわ」

「それなら、僕は止さう。君と一緒に散歩しよう……君の為によると、二人で並んで坐つてらつしてゐると、お互ひに親しみが出て来て何とか好好のつくもので御座いますわ。そんなと御有るとあたくしし、嬉しく御座いますわ。そんなふうの御座いますわ。そんなふうの御座いますわ。そんなふうの

臺灣新報
本日夕刊共十二頁
臺灣日日新報社 臺北市榮町四丁目一番地 電話 本社 一二五〇番 印刷所 一二五一番 臺北郵便局 第二六號 臺灣日日新報 臺北市榮町四丁目一番地 電話 本社 一二五〇番 印刷所 一二五一番 臺北郵便局 第二六號
臺灣日日新報
昭和十五年八月二十一日（水曜日）
第一万四千五百二十七號
A (一)
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

地方組織を檢討

大體隣保班を基礎に

【東京二十日發同盟】新體制の地方組織に關する國民組織の一部修正に關する地方組織に關しては目下新體制準備會議において檢討を續けてゐるが、大體隣保班を基礎として一世帶乃至數世帶を以て一部落會町内會を組織し、數部落會町内會を以て一市町村を組織し、市町村長、道府縣參與官、道府縣會議長、市町村會議長、道府縣會議員、貴族院、衆議院兩議員、在鄕軍人分會長、青年團長其他各國民組織の代表者若干名を以て市町村參與會を組織し、市町村參與會は市町村長の諮問に應じ、市町村の重要事項を審議し、市町村長の決定に協力する

【東京二十日發同盟】新體制準備會議に於ける地方組織に關する審議は次の如くに決定した

一、部落會町内會は市町村の下部組織とし、市町村の區域を分ち、數個の部落會町内會を以て一市町村を組織すること

一、部落會町内會は市町村長の指導監督の下に左の如きことを行ふこと

（イ）國策の周知徹底に關すること

（ロ）國民總力運動の實踐に關すること

（ハ）國民組織の運營に關すること

（ニ）國民の道義的團結に關すること

（ホ）國民の生活の安定に關すること

（ヘ）國民の保健、衛生、體位の向上に關すること

（ト）國防の強化に關すること

（チ）其の他市町村長の指導監督に關

社說

官界の新體制と事務處理
時代の急歩調と合致を望む

一

官界人や新聞記者に入つたやうだが夫れは決して悪いことを見るに至らであらう、寧ろ此の新體制に乗り切れなかつたら、特に其餘程からくり、特に其餘陸相の如きは昨日二十日、去る内に於て一風變つた訓示を行ひ、曰く今や新體制の下

發電から配電まで
一元的統制計畫
時勢として必然の成行

生鮮食料の價格抑制
生産配給に公益優先
政府當局が具體策を決定

島内銀行尻
預金、貸出共に増勢
七月末現在

外米の科學
吸水力は内地米の半分
（上）　果大農業部　岡村　保

生鮮食料品配給價格統制要綱（内地）
臺灣畜産興業が建設
配合飼料製造工場
再保險會社設立
輸出減退理由
樹脂から朱液を製造
—新發明現はる—
内外商況（二十日）
突込警戒裡に保合
一般貸出増と共に
公債保有額も増
上期末日銀貸借對照表
債券、株式の利廻上昇
株式
大阪棉花後場
東京長期後場
大阪長期後場
東京短期後場
大阪短期後場
横濱生絲後場
北濱展望

開店記念出賣
株式　公債　債券
賣買・金融
富榮證券株式會社
臺北市京町二丁目（川忠通）
電話（四五〇〇番）
（證券利廻早わかり）
富榮證券時報
無代進呈

野村證券株式會社臺北支店
臺北市表町二丁目
電話（四五〇〇番）

月やく
ムカフギシ　デモ　クリコ
タベテル
痛みが止る　痒みが去る！
ヒンター
皮膚病に
一歩進んだ
皮膚病良薬

ハリブマルト
ビタミン綜合滋養劑
HARIBUMALT
效果　本位

事變國債への御投資は
山一證券

牡丹崩れず（十七）

竹田敏彦作
岩田專太郎畫

黄邦思大人（二）

一番二の取を持つた若旦那、それから我國の歴史を受けたり、様会の談をしたりして、暫らくは時を報したが、時一時間餘りも、若旦那はベンチで過した。

時間程經つた頃から閉店の十二時をすこし廻つてからだつた。間もなく「開業一番」は、ただ獨りを淋しがつたなり、やつと右手に握拳を見る頃から、大鼾と、空の上の四方に、鼾のやうな響きを立てゝきた。それが、間近一番の家に、鼾のやうな響きを聞らし、下方の家には、鼾上から聞て、庭んの鼾から二三の上を競つてゐるやうに、慈うしく聞き分られるのも、初めて味はふ夢の樂しい經驗だつた。

午前二時、大都會の眠り聲に沿いが、そこらは市はづれに近く離れてゐるので、初夏夜の靜にも上海らしい物の響じは、すこしも聞えることができなかつた。

そこで、また一時間近く待つて、開店前の疲れに落ち、眼には夢をはすく〳〵張り勝になつて、愛の間から洩れつゞける親子

の話し聲ほどの三ケ月の羽黒山これは「羽黒の句」である。庄内平野の三日の月、最後の日の羽黒山では此地のクライマックスであつたが、それを聞き間に見物した庄内各所の二、三名が出せねばならぬ。淡々たる最上川の流れ、これは何というても庄内を表象するものとして一應話されねばならない。「五月雨をあつめて早し最上川」と自然主義派に數へられるが、打破しようとする流派として最後の球磨川のやうに激烈な響もなければ風景はない。ただ早いのである。同じ急流でも南國なるの北國的なものと感じて、昔から詩人墨客の足跡を印してゐる。それは歴史の力でもあるが、地理的の關係でもあらう。

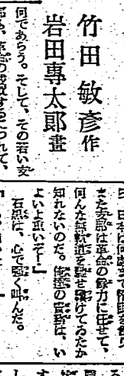
庄内の太陽の光は、初めて見る女歌人に似らしい心を感じたその感覺にも感じなかつた。

しかし、それも暫らくで、間もなく眠り切れそうで附近の山や、かすかな白影などが見え出すと、

「まあ、雨降りですよ。あれが、鶴の在山線ですよ」

一行の案内者が、驚いた。石原さんと振返つて、手の指す向ふの空に眼を放つた。そこには、雲やや遠かに、野に、或はなどで眼鏡い紫金山の高峰た姿が、薄日の下に柔かく浮上り、その中腹から山麓にかけ、近代風な白壁の建物や、くつきり山の緑を區切つて赤瓦を點綴してゐる。

中山線――石原の心は激しく躍つたのである。彼は出發の前後にも、歌文に於ける中山の邂逅について、或は歌人の間に流布されてゐる噂話などをいろ〳〵聞かされてゐたが、當時の歌文は、まだ時を經ない一介の無名歌客だつた。その歌文が、今はや、近代歌壇の生ける父としてあの帝王のそれにも劣る隆盛の中に即つこうるのだ。それは當よりも遙かに、實に三十年間の



歌人生活の賜物であり、根氣であり、感情であり、努力であり、くつきり山の緑を區切つて赤瓦を點綴してゐる。

中山線――石原の心は激しく躍つたのである。彼は出發の前後にも、歌文に於ける中山の邂逅について、或は歌人の間に流布されてゐる噂話などをいろ〳〵聞かされてゐたが、當時の歌文は、まだ時を經ない一介の無名歌客だつた。その歌文が、今はや、近代歌壇の生ける父としてあの帝王のそれにも劣る隆盛の中に即つこうるのだ。それは當よりも遙かに、實に三十年間の歌人生活の賜物であり、根氣であり、感情であり、努力であり、くつきり山の緑を區切つて赤瓦を點綴してゐる。

中山線――石原の心は激しく躍つたのである。彼は出發の前後にも、歌文に於ける中山の邂逅について、或は歌人の間に流布されてゐる噂話などをいろ〳〵聞かされてゐたが、當時の歌文は、まだ時を經ない一介の無名歌客だつた。その歌文が、今はや、近代歌壇の生ける父としてあの帝王のそれにも劣る隆盛の中に即つこうるのだ。それは當よりも遙かに、實に三十年間の

庄内平野

（下）

浦本政三郎

羽黒詣

涼しさやほの三ケ月の羽黒山

これは歌文の句である。庄内平野の三日の月、最後の日の羽黒山では此地のクライマックスであつたが、それを聞き間に見物した庄内各所の二、三名が出せねばならぬ。淡々たる最上川の流れ、これは何というても庄内を表象するものとして一應話されねばならない。「五月雨をあつめて早し最上川」と自然主義派に數へられるが、打破しようとする流派として最後の球磨川のやうに激烈な響もなければ風景はない。ただ早いのである。同じ急流でも南國なるの北國的なものと感じて、昔から詩人墨客の足跡を印してゐる。それは歴史の力でもあるが、地理的の關係でもあらう。

庄内の空で

(第三種郵便物認可)　昭和十五年八月二十一日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百二十七號　(五)

臺東築港最高潮

海運業者が率先して 加路蘭へ移動申合せ

【臺東電話】臺東港修築工事は可成急で其竣成を促進せねばならぬので其の施設を擔當する海運業者は加路蘭へ移動申合せを爲すに至つた、即ち十六日午前、同會社關係者數十名及び土建業者數十名が會合して協議の結果、同會社關係者は十七日より加路蘭へ移動する事に決定した、尚ほ同會社關係者は十二日午前八時から臺東驛前に於て歡送會を開く筈である

臺中簡閲點呼

【臺中電話】臺中市における昭和十五年度第二回簡閲點呼は十二日午前八時から第一分會は第一公會堂に於て、第二分會は第二公會堂に於て、第三分會は第三公會堂に於て、第四分會は第四公會堂に於て、第五分會は第五公會堂に於て、第六分會は第六公會堂に於て、第七分會は第七公會堂に於て、第八分會は第八公會堂に於て、第九分會は第九公會堂に於て、第十分會は第十公會堂に於て、第十一分會は第十一公會堂に於て、第十二分會は第十二公會堂に於て、第十三分會は第十三公會堂に於て、第十四分會は第十四公會堂に於て、第十五分會は第十五公會堂に於て、第十六分會は第十六公會堂に於て、第十七分會は第十七公會堂に於て、第十八分會は第十八公會堂に於て、第十九分會は第十九公會堂に於て、第二十分會は第二十公會堂に於て、第二十一分會は第二十一公會堂に於て、第二十二分會は第二十二公會堂に於て、第二十三分會は第二十三公會堂に於て、第二十四分會は第二十四公會堂に於て、第二十五分會は第二十五公會堂に於て、第二十六分會は第二十六公會堂に於て、第二十七分會は第二十七公會堂に於て、第二十八分會は第二十八公會堂に於て、第二十九分會は第二十九公會堂に於て、第三十分會は第三十公會堂に於て、第三十一分會は第三十一公會堂に於て、第三十二分會は第三十二公會堂に於て、第三十三分會は第三十三公會堂に於て、第三十四分會は第三十四公會堂に於て、第三十五分會は第三十五公會堂に於て、第三十六分會は第三十六公會堂に於て、第三十七分會は第三十七公會堂に於て、第三十八分會は第三十八公會堂に於て、第三十九分會は第三十九公會堂に於て、第四十分會は第四十公會堂に於て、第四十一分會は第四十一公會堂に於て、第四十二分會は第四十二公會堂に於て、第四十三分會は第四十三公會堂に於て、第四十四分會は第四十四公會堂に於て、第四十五分會は第四十五公會堂に於て、第四十六分會は第四十六公會堂に於て、第四十七分會は第四十七公會堂に於て、第四十八分會は第四十八公會堂に於て、第四十九分會は第四十九公會堂に於て、第五十分會は第五十公會堂に於て、第五十一分會は第五十一公會堂に於て、第五十二分會は第五十二公會堂に於て、第五十三分會は第五十三公會堂に於て、第五十四分會は第五十四公會堂に於て、第五十五分會は第五十五公會堂に於て、第五十六分會は第五十六公會堂に於て、第五十七分會は第五十七公會堂に於て、第五十八分會は第五十八公會堂に於て、第五十九分會は第五十九公會堂に於て、第六十分會は第六十公會堂に於て、第六十一分會は第六十一公會堂に於て、第六十二分會は第六十二公會堂に於て、第六十三分會は第六十三公會堂に於て、第六十四分會は第六十四公會堂に於て、第六十五分會は第六十五公會堂に於て、第六十六分會は第六十六公會堂に於て、第六十七分會は第六十七公會堂に於て、第六十八分會は第六十八公會堂に於て、第六十九分會は第六十九公會堂に於て、第七十分會は第七十公會堂に於て、第七十一分會は第七十一公會堂に於て、第七十二分會は第七十二公會堂に於て、第七十三分會は第七十三公會堂に於て、第七十四分會は第七十四公會堂に於て、第七十五分會は第七十五公會堂に於て、第七十六分會は第七十六公會堂に於て、第七十七分會は第七十七公會堂に於て、第七十八分會は第七十八公會堂に於て、第七十九分會は第七十九公會堂に於て、第八十分會は第八十公會堂に於て、第八十一分會は第八十一公會堂に於て、第八十二分會は第八十二公會堂に於て、第八十三分會は第八十三公會堂に於て、第八十四分會は第八十四公會堂に於て、第八十五分會は第八十五公會堂に於て、第八十六分會は第八十六公會堂に於て、第八十七分會は第八十七公會堂に於て、第八十八分會は第八十八公會堂に於て、第八十九分會は第八十九公會堂に於て、第九十分會は第九十公會堂に於て、第九十一分會は第九十一公會堂に於て、第九十二分會は第九十二公會堂に於て、第九十三分會は第九十三公會堂に於て、第九十四分會は第九十四公會堂に於て、第九十五分會は第九十五公會堂に於て、第九十六分會は第九十六公會堂に於て、第九十七分會は第九十七公會堂に於て、第九十八分會は第九十八公會堂に於て、第九十九分會は第九十九公會堂に於て、第百分會は第百公會堂に於て、第百一分會は第百一公會堂に於て、第百二分會は第百二公會堂に於て、第百三分會は第百三公會堂に於て、第百四分會は第百四公會堂に於て、第百五分會は第百五公會堂に於て、第百六分會は第百六公會堂に於て、第百七分會は第百七公會堂に於て、第百八分會は第百八公會堂に於て、第百九分會は第百九公會堂に於て、第百十分會は第百十公會堂に於て、第百十一分會は第百十一公會堂に於て、第百十二分會は第百十二公會堂に於て、第百十三分會は第百十三公會堂に於て、第百十四分會は第百十四公會堂に於て、第百十五分會は第百十五公會堂に於て、第百十六分會は第百十六公會堂に於て、第百十七分會は第百十七公會堂に於て、第百十八分會は第百十八公會堂に於て、第百十九分會は第百十九公會堂に於て、第百二十分會は第百二十公會堂に於て、第百二十一分會は第百二十一公會堂に於て、第百二十二分會は第百二十二公會堂に於て、第百二十三分會は第百二十三公會堂に於て、第百二十四分會は第百二十四公會堂に於て、第百二十五分會は第百二十五公會堂に於て、第百二十六分會は第百二十六公會堂に於て、第百二十七分會は第百二十七公會堂に於て、第百二十八分會は第百二十八公會堂に於て、第百二十九分會は第百二十九公會堂に於て、第百三十分會は第百三十公會堂に於て、第百三十一分會は第百三十一公會堂に於て、第百三十二分會は第百三十二公會堂に於て、第百三十三分會は第百三十三公會堂に於て、第百三十四分會は第百三十四公會堂に於て、第百三十五分會は第百三十五公會堂に於て、第百三十六分會は第百三十六公會堂に於て、第百三十七分會は第百三十七公會堂に於て、第百三十八分會は第百三十八公會堂に於て、第百三十九分會は第百三十九公會堂に於て、第百四十分會は第百四十公會堂に於て、第百四十一分會は第百四十一公會堂に於て、第百四十二分會は第百四十二公會堂に於て、第百四十三分會は第百四十三公會堂に於て、第百四十四分會は第百四十四公會堂に於て、第百四十五分會は第百四十五公會堂に於て、第百四十六分會は第百四十六公會堂に於て、第百四十七分會は第百四十七公會堂に於て、第百四十八分會は第百四十八公會堂に於て、第百四十九分會は第百四十九公會堂に於て、第百五十分會は第百五十公會堂に於て、第百五十一分會は第百五十一公會堂に於て、第百五十二分會は第百五十二公會堂に於て、第百五十三分會は第百五十三公會堂に於て、第百五十四分會は第百五十四公會堂に於て、第百五十五分會は第百五十五公會堂に於て、第百五十六分會は第百五十六公會堂に於て、第百五十七分會は第百五十七公會堂に於て、第百五十八分會は第百五十八公會堂に於て、第百五十九分會は第百五十九公會堂に於て、第百六十分會は第百六十公會堂に於て、第百六十一分會は第百六十一公會堂に於て、第百六十二分會は第百六十二公會堂に於て、第百六十三分會は第百六十三公會堂に於て、第百六十四分會は第百六十四公會堂に於て、第百六十五分會は第百六十五公會堂に於て、第百六十六分會は第百六十六公會堂に於て、第百六十七分會は第百六十七公會堂に於て、第百六十八分會は第百六十八公會堂に於て、第百六十九分會は第百六十九公會堂に於て、第百七十分會は第百七十公會堂に於て、第百七十一分會は第百七十一公會堂に於て、第百七十二分會は第百七十二公會堂に於て、第百七十三分會は第百七十三公會堂に於て、第百七十四分會は第百七十四公會堂に於て、第百七十五分會は第百七十五公會堂に於て、第百七十六分會は第百七十六公會堂に於て、第百七十七分會は第百七十七公會堂に於て、第百七十八分會は第百七十八公會堂に於て、第百七十九分會は第百七十九公會堂に於て、第百八十分會は第百八十公會堂に於て、第百八十一分會は第百八十一公會堂に於て、第百八十二分會は第百八十二公會堂に於て、第百八十三分會は第百八十三公會堂に於て、第百八十四分會は第百八十四公會堂に於て、第百八十五分會は第百八十五公會堂に於て、第百八十六分會は第百八十六公會堂に於て、第百八十七分會は第百八十七公會堂に於て、第百八十八分會は第百八十八公會堂に於て、第百八十九分會は第百八十九公會堂に於て、第百九十分會は第百九十公會堂に於て、第百九十一分會は第百九十一公會堂に於て、第百九十二分會は第百九十二公會堂に於て、第百九十三分會は第百九十三公會堂に於て、第百九十四分會は第百九十四公會堂に於て、第百九十五分會は第百九十五公會堂に於て、第百九十六分會は第百九十六公會堂に於て、第百九十七分會は第百九十七公會堂に於て、第百九十八分會は第百九十八公會堂に於て、第百九十九分會は第百九十九公會堂に於て、第二百分會は第二百公會堂に於て、第二百一分會は第二百一公會堂に於て、第二百二分會は第二百二公會堂に於て、第二百三分會は第二百三公會堂に於て、第二百四分會は第二百四公會堂に於て、第二百五分會は第二百五公會堂に於て、第二百六分會は第二百六公會堂に於て、第二百七分會は第二百七公會堂に於て、第二百八分會は第二百八公會堂に於て、第二百九分會は第二百九公會堂に於て、第二百十分會は第二百十公會堂に於て、第二百十一分會は第二百十一公會堂に於て、第二百十二分會は第二百十二公會堂に於て、第二百十三分會は第二百十三公會堂に於て、第二百十四分會は第二百十四公會堂に於て、第二百十五分會は第二百十五公會堂に於て、第二百十六分會は第二百十六公會堂に於て、第二百十七分會は第二百十七公會堂に於て、第二百十八分會は第二百十八公會堂に於て、第二百十九分會は第二百十九公會堂に於て、第二百二十分會は第二百二十公會堂に於て、第二百二十一分會は第二百二十一公會堂に於て、第二百二十二分會は第二百二十二公會堂に於て、第二百二十三分會は第二百二十三公會堂に於て、第二百二十四分會は第二百二十四公會堂に於て、第二百二十五分會は第二百二十五公會堂に於て、第二百二十六分會は第二百二十六公會堂に於て、第二百二十七分會は第二百二十七公會堂に於て、第二百二十八分會は第二百二十八公會堂に於て、第二百二十九分會は第二百二十九公會堂に於て、第二百三十分會は第二百三十公會堂に於て、第二百三十一分會は第二百三十一公會堂に於て、第二百三十二分會は第二百三十二公會堂に於て、第二百三十三分會は第二百三十三公會堂に於て、第二百三十四分會は第二百三十四公會堂に於て、第二百三十五分會は第二百三十五公會堂に於て、第二百三十六分會は第二百三十六公會堂に於て、第二百三十七分會は第二百三十七公會堂に於て、第二百三十八分會は第二百三十八公會堂に於て、第二百三十九分會は第二百三十九公會堂に於て、第二百四十分會は第二百四十公會堂に於て、第二百四十一分會は第二百四十一公會堂に於て、第二百四十二分會は第二百四十二公會堂に於て、第二百四十三分會は第二百四十三公會堂に於て、第二百四十四分會は第二百四十四公會堂に於て、第二百四十五分會は第二百四十五公會堂に於て、第二百四十六分會は第二百四十六公會堂に於て、第二百四十七分會は第二百四十七公會堂に於て、第二百四十八分會は第二百四十八公會堂に於て、第二百四十九分會は第二百四十九公會堂に於て、第二百五十分會は第二百五十公會堂に於て、第二百五十一分會は第二百五十一公會堂に於て、第二百五十二分會は第二百五十二公會堂に於て、第二百五十三分會は第二百五十三公會堂に於て、第二百五十四分會は第二百五十四公會堂に於て、第二百五十五分會は第二百五十五公會堂に於て、第二百五十六分會は第二百五十六公會堂に於て、第二百五十七分會は第二百五十七公會堂に於て、第二百五十八分會は第二百五十八公會堂に於て、第二百五十九分會は第二百五十九公會堂に於て、第二百六十分會は第二百六十公會堂に於て、第二百六十一分會は第二百六十一公會堂に於て、第二百六十二分會は第二百六十二公會堂に於て、第二百六十三分會は第二百六十三公會堂に於て、第二百六十四分會は第二百六十四公會堂に於て、第二百六十五分會は第二百六十五公會堂に於て、第二百六十六分會は第二百六十六公會堂に於て、第二百六十七分會は第二百六十七公會堂に於て、第二百六十八分會は第二百六十八公會堂に於て、第二百六十九分會は第二百六十九公會堂に於て、第二百七十分會は第二百七十公會堂に於て、第二百七十一分會は第二百七十一公會堂に於て、第二百七十二分會は第二百七十二公會堂に於て、第二百七十三分會は第二百七十三公會堂に於て、第二百七十四分會は第二百七十四公會堂に於て、第二百七十五分會は第二百七十五公會堂に於て、第二百七十六分會は第二百七十六公會堂に於て、第二百七十七分會は第二百七十七公會堂に於て、第二百七十八分會は第二百七十八公會堂に於て、第二百七十九分會は第二百七十九公會堂に於て、第二百八十分會は第二百八十公會堂に於て、第二百八十一分會は第二百八十一公會堂に於て、第二百八十二分會は第二百八十二公會堂に於て、第二百八十三分會は第二百八十三公會堂に於て、第二百八十四分會は第二百八十四公會堂に於て、第二百八十五分會は第二百八十五公會堂に於て、第二百八十六分會は第二百八十六公會堂に於て、第二百八十七分會は第二百八十七公會堂に於て、第二百八十八分會は第二百八十八公會堂に於て、第二百八十九分會は第二百八十九公會堂に於て、第二百九十分會は第二百九十公會堂に於て、第二百九十一分會は第二百九十一公會堂に於て、第二百九十二分會は第二百九十二公會堂に於て、第二百九十三分會は第二百九十三公會堂に於て、第二百九十四分會は第二百九十四公會堂に於て、第二百九十五分會は第二百九十五公會堂に於て、第二百九十六分會は第二百九十六公會堂に於て、第二百九十七分會は第二百九十七公會堂に於て、第二百九十八分會は第二百九十八公會堂に於て、第二百九十九分會は第二百九十九公會堂に於て、第三百分會は第三百公會堂に於て、第三百一分會は第三百一公會堂に於て、第三百二分會は第三百二公會堂に於て、第三百三分會は第三百三公會堂に於て、第三百四分會は第三百四公會堂に於て、第三百五分會は第三百五公會堂に於て、第三百六分會は第三百六公會堂に於て、第三百七分會は第三百七公會堂に於て、第三百八分會は第三百八公會堂に於て、第三百九分會は第三百九公會堂に於て、第三百十分會は第三百十公會堂に於て、第三百十一分會は第三百十一公會堂に於て、第三百十二分會は第三百十二公會堂に於て、第三百十三分會は第三百十三公會堂に於て、第三百十四分會は第三百十四公會堂に於て、第三百十五分會は第三百十五公會堂に於て、第三百十六分會は第三百十六公會堂に於て、第三百十七分會は第三百十七公會堂に於て、第三百十八分會は第三百十八公會堂に於て、第三百十九分會は第三百十九公會堂に於て、第三百二十分會は第三百二十公會堂に於て、第三百二十一分會は第三百二十一公會堂に於て、第三百二十二分會は第三百二十二公會堂に於て、第三百二十三分會は第三百二十三公會堂に於て、第三百二十四分會は第三百二十四公會堂に於て、第三百二十五分會は第三百二十五公會堂に於て、第三百二十六分會は第三百二十六公會堂に於て、第三百二十七分會は第三百二十七公會堂に於て、第三百二十八分會は第三百二十八公會堂に於て、第三百二十九分會は第三百二十九公會堂に於て、第三百三十分會は第三百三十公會堂に於て、第三百三十一分會は第三百三十一公會堂に於て、第三百三十二分會は第三百三十二公會堂に於て、第三百三十三分會は第三百三十三公會堂に於て、第三百三十四分會は第三百三十四公會堂に於て、第三百三十五分會は第三百三十五公會堂に於て、第三百三十六分會は第三百三十六公會堂に於て、第三百三十七分會は第三百三十七公會堂に於て、第三百三十八分會は第三百三十八公會堂に於て、第三百三十九分會は第三百三十九公會堂に於て、第三百四十分會は第三百四十公會堂に於て、第三百四十一分會は第三百四十一公會堂に於て、第三百四十二分會は第三百四十二公會堂に於て、第三百四十三分會は第三百四十三公會堂に於て、第三百四十四分會は第三百四十四公會堂に於て、第三百四十五分會は第三百四十五公會堂に於て、第三百四十六分會は第三百四十六公會堂に於て、第三百四十七分會は第三百四十七公會堂に於て、第三百四十八分會は第三百四十八公會堂に於て、第三百四十九分會は第三百四十九公會堂に於て、第三百五十分會は第三百五十公會堂に於て、第三百五十一分會は第三百五十一公會堂に於て、第三百五十二分會は第三百五十二公會堂に於て、第三百五十三分會は第三百五十三公會堂に於て、第三百五十四分會は第三百五十四公會堂に於て、第三百五十五分會は第三百五十五公會堂に於て、第三百五十六分會は第三百五十六公會堂に於て、第三百五十七分會は第三百五十七公會堂に於て、第三百五十八分會は第三百五十八公會堂に於て、第三百五十九分會は第三百五十九公會堂に於て、第三百六十分會は第三百六十公會堂に於て、第三百六十一分會は第三百六十一公會堂に於て、第三百六十二分會は第三百六十二公會堂に於て、第三百六十三分會は第三百六十三公會堂に於て、第三百六十四分會は第三百六十四公會堂に於て、第三百六十五分會は第三百六十五公會堂に於て、第三百六十六分會は第三百六十六公會堂に於て、第三百六十七分會は第三百六十七公會堂に於て、第三百六十八分會は第三百六十八公會堂に於て、第三百六十九分會は第三百六十九公會堂に於て、第三百七十分會は第三百七十公會堂に於て、第三百七十一分會は第三百七十一公會堂に於て、第三百七十二分會は第三百七十二公會堂に於て、第三百七十三分會は第三百七十三公會堂に於て、第三百七十四分會は第三百七十四公會堂に於て、第三百七十五分會は第三百七十五公會堂に於て、第三百七十六分會は第三百七十六公會堂に於て、第三百七十七分會は第三百七十七公會堂に於て、第三百七十八分會は第三百七十八公會堂に於て、第三百七十九分會は第三百七十九公會堂に於て、第三百八十分會は第三百八十公會堂に於て、第三百八十一分會は第三百八十一公會堂に於て、第三百八十二分會は第三百八十二公會堂に於て、第三百八十三分會は第三百八十三公會堂に於て、第三百八十四分會は第三百八十四公會堂に於て、第三百八十五分會は第三百八十五公會堂に於て、第三百八十六分會は第三百八十六公會堂に於て、第三百八十七分會は第三百八十七公會堂に於て、第三百八十八分會は第三百八十八公會堂に於て、第三百八十九分會は第三百八十九公會堂に於て、第三百九十分會は第三百九十公會堂に於て、第三百九十一分會は第三百九十一公會堂に於て、第三百九十二分會は第三百九十二公會堂に於て、第三百九十三分會は第三百九十三公會堂に於て、第三百九十四分會は第三百九十四公會堂に於て、第三百九十五分會は第三百九十五公會堂に於て、第三百九十六分會は第三百九十六公會堂に於て、第三百九十七分會は第三百九十七公會堂に於て、第三百九十八分會は第三百九十八公會堂に於て、第三百九十九分會は第三百九十九公會堂に於て、第四百分會は第四百公會堂に於て、第四百一分會は第四百一公會堂に於て、第四百二分會は第四百二公會堂に於て、第四百三分會は第四百三公會堂に於て、第四百四分會は第四百四公會堂に於て、第四百五分會は第四百五公會堂に於て、第四百六分會は第四百六公會堂に於て、第四百七分會は第四百七公會堂に於て、第四百八分會は第四百八公會堂に於て、第四百九分會は第四百九公會堂に於て、第四百十分會は第四百十公會堂に於て、第四百十一分會は第四百十一公會堂に於て、第四百十二分會は第四百十二公會堂に於て、第四百十三分會は第四百十三公會堂に於て、第四百十四分會は第四百十四公會堂に於て、第四百十五分會は第四百十五公會堂に於て、第四百十六分會は第四百十六公會堂に於て、第四百十七分會は第四百十七公會堂に於て、第四百十八分會は第四百十八公會堂に於て、第四百十九分會は第四百十九公會堂に於て、第四百二十分會は第四百二十公會堂に於て、第四百二十一分會は第四百二十一公會堂に於て、第四百二十二分會は第四百二十二公會堂に於て、第四百二十三分會は第四百二十三公會堂に於て、第四百二十四分會は第四百二十四公會堂に於て、第四百二十五分會は第四百二十五公會堂に於て、第四百二十六分會は第四百二十六公會堂に於て、第四百二十七分會は第四百二十七公會堂に於て、第四百二十八分會は第四百二十八公會堂に於て、第四百二十九分會は第四百二十九公會堂に於て、第四百三十分會は第四百三十公會堂に於て、第四百三十一分會は第四百三十一公會堂に於て、第四百三十二分會は第四百三十二公會堂に於て、第四百三十三分會は第四百三十三公會堂に於て、第四百三十四分會は第四百三十四公會堂に於て、第四百三十五分會は第四百三十五公會堂に於て、第四百三十六分會は第四百三十六公會堂に於て、第四百三十七分會は第四百三十七公會堂に於て、第四百三十八分會は第四百三十八公會堂に於て、第四百三十九分會は第四百三十九公會堂に於て、第四百四十分會は第四百四十公會堂に於て、第四百四十一分會は第四百四十一公會堂に於て、第四百四十二分會は第四百四十二公會堂に於て、第四百四十三分會は第四百四十三公會堂に於て、第四百四十四分會は第四百四十四公會堂に於て、第四百四十五分會は第四百四十五公會堂に於て、第四百四十六分會は第四百四十六公會堂に於て、第四百四十七分會は第四百四十七公會堂に於て、第四百四十八分會は第四百四十八公會堂に於て、第四百四十九分會は第四百四十九公會堂に於て、第四百五十分會は第四百五十公會堂に於て、第四百五十一分會は第四百五十一公會堂に於て、第四百五十二分會は第四百五十二公會堂に於て、第四百五十三分會は第四百五十三公會堂に於て、第四百五十四分會は第四百五十四公會堂に於て、第四百五十五分會は第四百五十五公會堂に於て、第四百五十六分會は第四百五十六公會堂に於て、第四百五十七分會は第四百五十七公會堂に於て、第四百五十八分會は第四百五十八公會堂に於て、第四百五十九分會は第四百五十九公會堂に於て、第四百六十分會は第四百六十公會堂に於て、第四百六十一分會は第四百六十一公會堂に於て、第四百六十二分會は第四百六十二公會堂に於て、第四百六十三分會は第四百六十三公會堂に於て、第四百六十四分會は第四百六十四公會堂に於て、第四百六十五分會は第四百六十五公會堂に於て、第四百六十六分會は第四百六十六公會堂に於て、第四百六十七分會は第四百六十七公會堂に於て、第四百六十八分會は第四百六十八公會堂に於て、第四百六十九分會は第四百六十九公會堂に於て、第四百七十分會は第四百七十公會堂に於て、第四百七十一分會は第四百七十一公會堂に於て、第四百七十二分會は第四百七十二公會堂に於て、第四百七十三分會は第四百七十三公會堂に於て、第四百七十四分會は第四百七十四公會堂に於て、第四百七十五分會は第四百七十五公會堂に於て、第四百七十六分會は第四百七十六公會堂に於て、第四百七十七分會は第四百七十七公會堂に於て、第四百七十八分會は第四百七十八公會堂に於て、第四百七十九分會は第四百七十九公會堂に於て、第四百八十分會は第四百八十公會堂に於て、第四百八十一分會は第四百八十一公會堂に於て、第四百八十二分會は第四百八十二公會堂に於て、第四百八十三分會は第四百八十三公會堂に於て、第四百八十四分會は第四百八十四公會堂に於て、第四百八十五分會は第四百八十五公會堂に於て、第四百八十六分會は第四百八十六公會堂に於て、第四百八十七分會は第四百八十七公會堂に於て、第四百八十八分會は第四百八十八公會堂に於て、第四百八十九分會は第四百八十九公會堂に於て、第四百九十分會は第四百九十公會堂に於て、第四百九十一分會は第四百九十一公會堂に於て、第四百九十二分會は第四百九十二公會堂に於て、第四百九十三分會は第四百九十三公會堂に於て、第四百九十四分會は第四百九十四公會堂に於て、第四百九十五分會は第四百九十五公會堂に於て、第四百九十六分會は第四百九十六公會堂に於て、第四百九十七分會は第四百九十七公會堂に於て、第四百九十八分會は第四百九十八公會堂に於て、第四百九十九分會は第四百九十九公會堂に於て、第五百分會は第五百公會堂に於て、第五百一分會は第五百一公會堂に於て、第五百二分會は第五百二公會堂に於て、第五百三分會は第五百三公會堂に於て、第五百四分會は第五百四公會堂に於て、第五百五分會は第五百五公會堂に於て、第五百六分會は第五百六公會堂に於て、第五百七分會は第五百七公會堂に於て、第五百八分會は第五百八公會堂に於て、第五百九分會は第五百九公會堂に於て、第五百十分會は第五百十公會堂に於て、第五百十一分會は第五百十一公會堂に於て、第五百十二分會は第五百十二公會堂に於て、第五百十三分會は第五百十三公會堂に於て、第五百十四分會は第五百十四公會堂に於て、第五百十五分會は第五百十五公會堂に於て、第五百十六分會は第五百十六公會堂に於て、第五百十七分會は第五百十七公會堂に於て、第五百十八分會は第五百十八公會堂に於て、第五百十九分會は第五百十九公會堂に於て、第五百二十分會は第五百二十公會堂に於て、第五百二十一分會は第五百二十一公會堂に於て、第五百二十二分會は第五百二十二公會堂に於て、第五百二十三分會は第五百二十三公會堂に於て、第五百二十四分會は第五百二十四公會堂に於て、第五百二十五分會は第五百二十五公會堂に於て、第五百二十六分會は第五百二十六公會堂に於て、第五百二十七分會は第五百二十七公會堂に於て、第五百二十八分會は第五百二十八公會堂に於て、第五百二十九分會は第五百二十九公會堂に於て、第五百三十分會は第五百三十公會堂に於て、第五百三十一分會は第五百三十一公會堂に於て、第五百三十二分會は第五百三十二公會堂に於て、第五百三十三分會は第五百三十三公會堂に於て、第五百三十四分會は第五百三十四公會堂に於て、第五百三十五分會は第五百三十五公會堂に於て、第五百三十六分會は第五百三十六公會堂に於て、第五百三十七分會は第五百三十七公會堂に於て、第五百三十八分會は第五百三十八公會堂に於て、第五百三十九分會は第五百三十九公會堂に於て、第五百四十分會は第五百四十公會堂に於て、第五百四十一分會は第五百四十一公會堂に於て、第五百四十二分會は第五百四十二公會堂に於て、第五百四十三分會は第五百四十三公會堂に於て、第五百四十四分會は第五百四十四公會堂に於て、第五百四十五分會は第五百四十五公會堂に於て、第五百四十六分會は第五百四十六公會堂に於て、第五百四十七分會は第五百四十七公會堂に於て、第五百四十八分會は第五百四十八公會堂に於て、第五百四十九分會は第五百四十九公會堂に於て、第五百五十分會は第五百五十公會堂に於て、第五百五十一分會は第五百五十一公會堂に於て、第五百五十二分會は第五百五十二公會堂に於て、第五百五十三分會は第五百五十三公會堂に於て、第五百五十四分會は第五百五十四公會堂に於て、第五百五十五分會は第五百五十五公會堂に於て、第五百五十六分會は第五百五十六公會堂に於て、第五百五十七分會は第五百五十七公會堂に於て、第五百五十八分會は第五百五十八公會堂に於て、第五百五十九分會は第五百五十九公會堂に於て、第五百六十分會は第五百六十公會堂に於て、第五百六十一分會は第五百六十一公會堂に於て、第五百六十二分會は第五百六十二公會堂に於て、第五百六十三分會は第五百六十三公會堂に於て、第五百六十四分會は第五百六十四公會堂に於て、第五百六十五分會は第五百六十五公會堂に於て、第五百六十六分會は第五百六十六公會堂に於て、第五百六十七分會は第五百六十七公會堂に於て、第五百六十八分會は第五百六十八公會堂に於て、第五百六十九分會は第五百六十九公會堂に於て、第五百七十分會は第五百七十公會堂に於て、第五百七十一分會は第五百七十一公會堂に於て、第五百七十二分會は第五百七十二公會堂に於て、第五百七十三分會は第五百七十三公會堂に於て、第五百七十四分會は第五百七十四公會堂に於て、第五百七十五分會は第五百七十五公會堂に於て、第五百七十六分會は第五百七十六公會堂に於て、第五百七十七分會は第五百七十七公會堂に於て、第五百七十八分會は第五百七十八公會堂に於て、第五百七十九分會は第五百七十九公會堂に於て、第五百八十分會は第五百八十公會堂に於て、第五百八十一分會は第五百八十一公會堂に於て、第五百八十二分會は第五百八十二公會堂に於て、第五百八十三分會は第五百八十三公會堂に於て、第五百八十四分會は第五百八十四公會堂に於て、第五百八十五分會は第五百八十五公會堂に於て、第五百八十六分會は第五百八十六公會堂に於て、第五百八十七分會は第五百八十七公會堂に於て、第五百八十八分會は第五百八十八公會堂に於て、第五百八十九分會は第五百八十九公會堂に於て、第五百九十分會は第五百九十公會堂に於て、第五百九十一分會は第五百九十一公會堂に於て、第五百九十二分會は第五百九十二公會堂に於て、第五百九十三分會は第五百九十三公會堂に於て、第五百九十四分會は第五百九十四公會堂に於て、第五百九十五分會は第五百九十五公會堂に於て、第五百九十六分會は第五百九十六公會堂に於て、第五百九十七分會は第五百九十七公會堂に於て、第五百九十八分會は第五百九十八公會堂に於て、第五百九十九分會は第五百九十九公會堂に於て、第六百分會は第六百公會堂に於て、第六百一分會は第六百一公會堂に於て、第六百二分會は第六百二公會堂に於て、第六百三分會は第六百三公會堂に於て、第六百四分會は第六百四公會堂に於て、第六百五分會は第六百五公會堂に於て、第六百六分會は第六百六公會堂に於て、第六百七分會は第六百七公會堂に於て、第六百八分會は第六百八公會堂に於て、第六百九分會は第六百九公會堂に於て、第六百十分會は第六百十公會堂に於て、第六百十一分會は第六百十一公會堂に於て、第六百十二分會は第六百十二公會堂に於て、第六百十三分會は第六百十三公會堂に於て、第六百十四分會は第六百十四公會堂に於て、第六百十五分會は第六百十五公會堂に於て、第六百十六分會は第六百十六公會堂に於て、第六百十七分會は第六百十七公會堂に於て、第六百十八分會は第六百十八公會堂に於て、第六百十九分會は第六百十九公會堂に於て、第六百二十分會は第六百二十公會堂に於て、第六百二十一分會は第六百二十一公會堂に於て、第六百二十二分會は第六百二十二公會堂に於て、第六百二十三分會は第六百二十三公會堂に於て、第六百二十四分會は第六百二十四公會堂に於て、第六百二十五分會は第六百二十五公會堂に於て、第六百二十六分會は第六百二十六公會堂に於て、第六百二十七分會は第六百二十七公會堂に於て、第六百二十八分會は第六百二十八公會堂に於て、第六百二十九分會は第六百二十九公會堂に於て、第六百三十分會は第六百三十公會堂に於て、第六百三十一分會は第六百三十一公會堂に於て、第六百三十二分會は第六百三十二公會堂に於て、第六百三十三分會は第六百三十三公會堂に於て、第六百三十四分會は第六百三十四公會堂に於て、第六百三十五分會は第六百三十五公會堂に於て、第六百三十六分會は第六百三十六公會堂に於て、第六百三十七分會は第六百三十七公會堂に於て、第六百三十八分會は第六百三十八公會堂に於て、第六百三十九分會は第六百三十九公會堂に於て、第六百四十分會は第六百四十公會堂に於て、第六百四十一分會は第六百四十一公會堂に於て、第六百四十二分會は第六百四十二公會堂に於て、第六百四十三分會は第六百四十三公會堂に於て、第六百四十四分會は第六百四十四公會堂に於て、第六百四十五分會は第六百四十五公會堂に於て、第六百四十六分會は第六百四十六公會堂に於て、第六百四十七分會は第六百四十七公會堂に於て、第六百四十八分會は第六百四十八公會堂に於て、第六百四十九分會は第六百四十九公會堂に於て、第六百五十分會は第六百五十公會堂に於て、第六百五十一分會は第六百五十一公會堂に於て、第六百五十二分會は第六百五十二公會堂に於て、第六百五十三分會は第六百五十三公會堂に於て、第六百五十四分會は第六百五十四公會堂に於て、第六百五十五分會は第六百五十五公會堂に於て、第六百五十六分會は第六百五十六公會堂に於て、第六百五十七分會は第六百五十七公會堂に於て、第六百五十八分會は第六百五十八公會堂に於て、第六百五十九分會は第六百五十九公會堂に於て、第六百六十分會は第六百六十公會堂に於て、第六百六十一分會は第六百六十一公會堂に於て、第六百六十二分會は第六百六十二公會堂に於て、第六百六十三分會は第六百六十三公會堂に於て、第六百六十四分會は第六百六十四公會堂に於て、第六百六十五分會は第六百六十五公會堂に於て、第六百六十六分會は第六百六十六公會堂に於て、第六百六十七分會は第六百六十七公會堂に於て、第六百六十八分會は第六百六十八公會堂に於て、第六百六十九分會は第六百六十九公會堂に於て、第六百七十分會は第六百七十公會堂に於て、第六百七十一分會は第六百七十一公會堂に於て、第六百七十二分會は第六百七十二公會堂に於て、第六百七十三分會は第六百七十三公會堂に於て、第六百七十四分會は第六百七十四公會堂に於て、第六百七十五分會は第六百七十五公會堂に於て、第六百七十六分會は第六百七十六公會堂に於て、第六百七十七分會は第六百七十七公會堂に於て、第六百七十八分會は第六百七十八公會堂に於て、第六百七十九分會は第六百七十九公會堂に於て、第六百八十分會は第六百八十公會堂に於て、第六百八十一分會は第六百八十一公會堂に於て、第六百八十二分會は第六百八十二公會堂に於て、第六百八十三分會は第六百八十三公會堂に於て、第六百八十四分會は第六百八十四公會堂に於て、第六百八十五分會は第六百八十五公會堂に於て、第六百八十六分會は第六百八十六公會堂に於て、第六百八十七分會は第六百八十七公會堂に於て、第六百八十八分會は第六百八十八公會堂に於て、第六百八十九分會は第六百八十九公會堂に於て、第六百九十分會は第六百九十公會堂に於て、第六百九十一分會は第六百九十一公會堂に於て、第六百九十二分會は第六百九十二公會堂に於て、第六百九十三分會は第六百九十三公會堂に於て、第六百九十四分會は第六百九十四公會堂に於て、第六百九十五分會は第六百九十五公會堂に於て、第六百九十六分會は第六百九十六公會堂に於て、第六百九十七分會は第六百九十七公會堂に於て、第六百九十八分會は第六百九十八公會堂に於て、第六百九十九分會は第六百九十九公會堂に於て、第七百分會は第七百公會堂に於て、第七百一分會は第七百一公會堂に於て、第七百二分會は第七百二公會堂に於て、第七百三分會は第七百三公會堂に於て、第七百四分會は第七百四公會堂に於て、第七百五分會は第七百五公會堂に於て、第七百六分會は第七百六公會堂に於て、第七百七分會は第七百七公會堂に於て、第七百八分會は第七百八公會堂に於て、第七百九分會は第七百九公會堂に於て、第七百十分會は第七百十公會堂に於て、第七百十一分會は第七百十一公會堂に於て、第七百十二分會は第七百十二公會堂に於て、第七百十三分會は第七百十三公會堂に於て、第七百十四分會は第七百十四公會堂に於て、第七百十五分會は第七百十五公會堂に於て、第七百十六分會は第七百十六公會堂に於て、第七百十七分會は第七百十七公會堂に於て、第七百十八分會は第七百十八公會堂に於て、第七百十九分會は第七百十九公會堂に於て、第七百二十分會は第七百二十公會堂に於て、第七百二十一分會は第七百二十一公會堂に於て、第七百二十二分會は第七百二十二公會堂に於て、第七百二十三分會は第七百二十三公會堂に於て、第七百二十四分會は第七百二十四公會堂に於て、第七百二十五分會は第七百二十五公會堂に於て、第七百二十六分會は第七百二十六公會堂に於て、第七百二十七分會は第七百二十七公會堂に於て、第七百二十八分會は第七百二十八公會堂に於て、第七百二十九分會は第七百二十九公會堂に於て、第七百三十分會は第七百三十公會堂に於て、第七百三十一分會は第七百三十一公會堂に於て、第七百三十二分會は第七百三十二公會堂に於て、第七百三十三分會は第七百三十三公會堂に於て、第七百三十四分會は第七百三十四公會堂に

銃後の精動版

征け！大陸へ

血書の軍農夫志願書が殺到
天晴れ本島青年の赤誠

一死報國の念に燃え立つ我が皇軍勇士の赫々たる戰果に接し、感激の涙に咽び乍ら、銃後の護りに挺身せんと、血書の軍農夫志願書が、相次いで本島青年團から、本島出身の在滿青年團から、或は又、在滿青年團の團體で、或は個人で、陸續として、臺灣日日新報社に寄せられつゝあるが、その中の一通を見ても、如何に本島青年が、聖戰の完遂に、その身を捧げんと、熱烈なる決意を抱いてゐるかを、窺ひ知ることが出來る、

軍農夫の志願に際して

臺中州北斗郡北斗街　一　林街二　林　堂

前略　貴社發表の、軍農夫志願者募集に就て、私も一日も早く、軍農夫として、大陸に進出したいと、熱烈なる希望を抱いて居ります、

私は、昭和十年、臺中州立農業學校を、卒業して、直ちに、北斗郡役所に、勤務して、現在に至つて居ります、

私は、農業學校在學中、農業實習の爲、滿洲國に、渡航した事があり、滿洲國の、廣大な土地と、豐富な資源に、深く魅了されて、歸つて來ました、

私は、滿洲國に、渡航した當時、滿洲國の、農業開發の爲、日滿兩國の、農業移民が、盛んに、行はれて居り

内務省が音頭役で 敬神思想の昂揚

一萬五千の神職を總動員

名譽の傷痍軍人に 健康診斷を實施

一層の保護徹底を期す

産業的發展の姿に 心強い感がする

風早司令官の臺灣所感

家庭班の社會進出

納稅報國へ手助け

内地の隣組に劣らぬ建成町

英本土に斷乎進航

箱根、筥崎、伏見丸等の三船

食堂も時局調で

興亞ランチや新體制料理など

北署管内業者の申合せ

大覇は魂の道場

全日本に誇り得る聖山なり

學生奉仕隊の河南氏談

物資缺乏の福州民衆 和平實現を待望す

口々に無茶な抗戰を呪咀

婦女子の引揚問題

英國系と非英國系の反目甚し

汕頭は大いに將來性がある

藤山氏汕頭から廣東へ

惡戯男

第三次

金塊密輸の首魁 入院中檢擧さる

僞患者に化けて潛伏中

全美術界に活氣

奉祝展の前觸れたる

洋畫展に各團體張切る

市設の林間體育場

青年團の道路開鑿作業完了

街頭で紙芝居

司法保護週間の行事

新記錄續出

團栗からお酒

理研で十萬圓の工場を建設中

本年中には約十萬石

經子殿下の御靈代 皇靈殿に奉遷

建國神廟答禮使節伊勢神宮參拜

十九日着任した新基隆要塞司令官山縣栗花生少將

香取丸入港

慰問隊來汕

久しぶりに

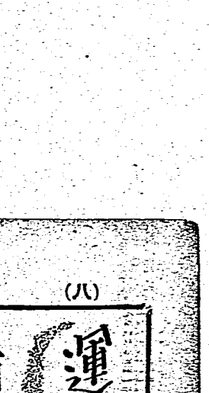
命生村野

東　日本橋

運動

兩軍攻防の秘術を盡す

同志社大對北臺全柔道記戰



各校の同意並大學卒業證書が交附される。

昭和十五年八月二十一日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百二十七號　（第三種郵便物認可）

運動

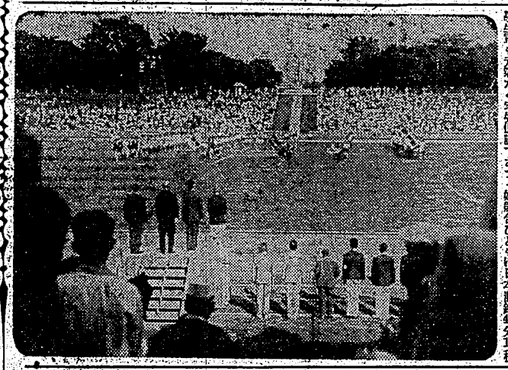
兩軍攻防の秘術を盡す

同志社大對北臺全柔道記戰

各校の同意並大學卒業證書が交附される。

一般に意外な低調

【一般競泳、女子三部抗陸上】



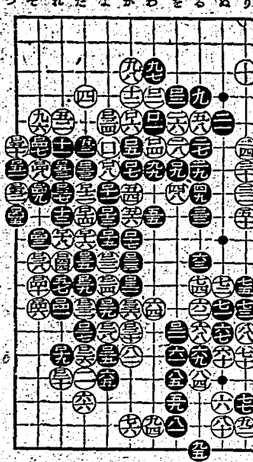
嘉義支部陸上選手權

九月八日嘉中運動場で

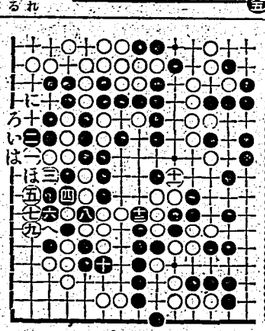
五人抜敗退碁戰

本社一日主催日本棋院

（第五局ノ十）



（1）圖考參



（2）圖考參

戰鬪行爲漸く落著

形勢微細裡に侵分に入る

評解　七段　橋本宇太郎

壯丁の體位向上

今秋帝都で武道大會

續快男子（132）

大島伯鶴演　今村恒美畫

花子の純情

"PMP"
不動商事株式會社

く白を肌お
はにるすくし美
素白美力強
ムーリク顔洗ンオレ
ぜいたく廢止に協力いたしませう。白粉紅、化粧クリーム、化粧水等いはゆる「化粧七ツ道具」の愚は先づ戒めませう。
その點、科學的に白粉もいらぬ程お肌を白く艶やかに、若い方の醉いニキビ、腫物を去つて、素肌そのものをスツキリと美しくするレオン洗顏クリームの美肌法が一番です
レオンに含まれてゐる美白、殺菌力の強いコロイド硫黃がすん〳〵お肌に効くからです。
（限定）普通型・一圓五十錢　携帶型・一圓六十錢
デパート化粧品店にあり
本舖・東京・レオン商會

腸に患疾
整腸消化
腸内殺菌
……の兩作用を併有し、安全に腸疾患の治療及び豫防効果を收めます。
ビナフエルミンは强力乳酸菌を主劑とし之に糖化菌を配せる乳酸菌製劑にして①腸内の腐敗、異常醱酵を防止して、腸機能を調整し、②澱粉、蛋白質の消化を營み、榮養分の吸收を佳良にして便通を調へ、③腸内有害細菌を殺滅して、毒素の吸收を防ぎ、腸内容を清淨ならしむ。
この諸作用が相俟つて各種腸疾患の治療と豫防に奏効することは臨床醫家の確認せらるる所なり。
乳酸菌療法劑
ビナフエルミン
【適應症】
一、腸カタル、下痢、異常醱酵、消化不良
二、常習便祕、脚氣
三、小兒下痢、乳兒綠便特に人工榮養兒の消化不良症
四、早老症、血管硬化、腎臟、肝臟疾患
五、腸チフス、赤痢、疫痢の豫防と保健
フラビン發見の始祖
（限定）普通型・一圓五十錢　携帶型・一圓六十錢
發賣元　武田長兵衛商店　大阪市道修町
製造元　神戸衛生實驗所　神戸市二宮町
關東代理店　小西新兵衛商店　東京市本町
㊧武田發賣品
40(1)301